

令和5年度武蔵野大学日本文学研究所
土岐善麿記念公開講座——親鸞聖人と極楽世界

今回の土岐善麿記念公開講座は、第一部で能の人気曲〈羽衣〉に見える古典楽器について実演とお話から考え、第二部では武蔵野大学ゆかりの歌人土岐善麿が能楽喜多流十五世喜多実と協働で創作した新作能〈親鸞〉について実演とお話から考えます。

※聴講無料・予約不要（直接、会場にお越し下さい）

◇開催日時 2024年3月16日（土）13時～15時40分

◇会場 武蔵野大学武蔵野キャンパス6号館雪頂講堂

〒202-8585 東京都西東京市新町一丁目1番20号

JR中央線：吉祥寺駅北口1番乗場よりバス15分「武蔵野大学」下車、三鷹駅北口3番乗場より

バス10分「武蔵野大学」下車、武蔵境駅北口3番乗場よりバス7分「武蔵野大学」下車

西武新宿線：田無駅より徒歩15分、または田無駅北口5番乗場よりバス5分「至誠学舎東京前」

下車徒歩5分

◇共催 武蔵野大学能楽資料センター・武蔵野大学文学部・武蔵野大学大学院文学研究科・
武蔵野大学国文学会

◇協力 伶楽舎

◇タイム・スケジュール 講座司会進行（本学文学部）岩城賢太郎

開会の挨拶（本学文学部・日本文学研究所長）土屋忍

第一部 極楽と「音楽」一能〈羽衣〉と雅楽から考える

お話「雅楽とは何か」（伶楽舎）宮丸直子

実演 雅楽「越殿楽」（伶楽舎）五月女愛・鈴木絵理・田口和美

お話「極楽と「音楽」一能〈羽衣〉と雅楽から考える」（本学文学部）三浦裕子

実演〈羽衣〉素謡と仕舞（シテ方喜多流）佐々木多門・大島輝久・友枝真也

お話「正倉院楽器の復元について」宮丸直子

実演「長沙女引」（芝祐靖作曲）ほか 五月女愛・鈴木絵理・田口和美

—休憩—

第二部 「土岐善麿と新作能〈親鸞〉」

お話「土岐善麿と新作能〈親鸞〉」（杏林大学・本学武蔵野文学館客員研究員）河路由佳

実演 素謡〈親鸞〉 佐々木多門・大島輝久・友枝真也

座談会 「新作能〈親鸞〉復曲上演に向けて」

佐々木多門・大島輝久・友枝真也・河路由佳・三浦裕子